

## プリンセス・クルーズ、2014年4月より日本発着クルーズに就航する ダイヤモンド・プリンセス新設日本式大浴場の名称を「泉の湯」に決定

Facebook で名前を一般募集し、1,400 以上の応募の中から選出



世界的なクルーズ会社であるプリンセス・クルーズは、ダイヤモンド・プリンセスに新設される、洋上最大級となる日本式大浴場の名称を「泉の湯」と決定したことを、本日発表した。

大浴場の名称は、2013年10月31日から11月17日の間にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の「Facebook（フェイスブック）」でのキャンペーンを通じて募集された。一般から寄せられた1,400以上のアイデアの中から、プリンセス・クルーズが選考し、「泉の湯」を大浴場の名称に決定した。

プリンセス・クルーズ社長、ジャン・スワーツは、「日本のお客様に、旅行中も慣れ親しんだお風呂でリラックスした時を過ごしていただきたいという思いで、洋上で最大級となる日本式のお風呂を新設することになりました。そこで、皆様に親しんでいただける名前を付けたいと思い、Facebook を通じて一般の方からアイデアを募集することにいたしました。多くのすばらしい名前の応募をいただき、選考は楽しくも難しいものでしたが、最終候補の中から、『泉の湯』を日本式大浴場の名称として決定いたしました。『泉の湯』は水を連想する言葉であり、人々をリラックスに導くことから、この名前が選ばれました。乗船客の皆様にも、ダイヤモンド・プリンセスでのクルーズをより一層楽しんでいただけると確信しています。」と述べた。

キャンペーンの賞品として、「泉の湯」の名称を提案した応募者1名に、『2014年日本発着クルーズ、ダイヤモンド・プリンセス10日間の旅、海側バルコニー客室、1組2名様ご招待』が授与される。

ダイヤモンド・プリンセスに新設される大浴場の広さは、浴場を囲む庭園を含め820平方メートル（約250坪）で、屋外と屋内の施設で構成されている。大浴場は、2014年3月、ドライドック期間中に行われる約30億円（3千万米ドル）を投じた大改装で、設置される。大浴場は早朝から夜遅くまで営業予定。利用は有料で、乗船時に予約を受け付ける予定。

ダイヤモンド・プリンセスは2014年4月から横浜港を母港とし、日本発着クルーズを6コース19航海行う。日本で建造された同船は今年、就航10周年を迎え、造船地である長崎にも寄港する。日本式大浴場以外にも、寿司レストラン「海（Kai）」が新設され、日本人乗船客のための特別サービスとしては、充実した和食メニュー、鏡割りのセレモニー、専門家による日本語の各種講座のほか、日本語の船内新聞やテレビ放送も提供される。これらの改装やサービスは、日本人が安心して楽しめるクルーズを提供しようとする同社の取り組みを表すものである。

※画像は全てデザイン案で、変更される場合があります。

以上